

令和5年度第3回大洗町地域公共交通会議 議事録

日 時： 2023/1/30(火)13:30~14:30

場 所： トヨペットスマイルホール大洗 大会議室

出席者： 関会長、山田副会長、山戸委員、小林健委員、飛田委員、鬼沢委員代理、服部委員、
國下委員、山浦委員、菅原委員、大川委員、岡村委員、長谷川委員、深作委員、
見澤委員、平根委員、山本委員代理
事務局

大洗町役場まちづくり推進課 海老澤課長、菅谷係長、深谷
株式会社アルメック

資 料： ①次第
②出席者名簿
③席次表
④資料1-1_大洗町地域公共交通計画(素案)
⑤資料1-2_計画記載内容の変更点等
⑥資料2_500円タクシー運行事業に関する令和6年度実証実験(案)
⑦資料3_今後のスケジュールについて

1. 開会

2. 会長挨拶

○今年元日に能登の地震がありショッキングであった。被災中の人も多い中、能登空港や能登と金沢を結ぶバスが再開し、地域の人にとっての公共交通の大切さを実感している。前回の11月の会議でアンケート調査結果や基本方針を示したが、今回はこれまでの議論を踏まえ地域公共交通計画の素案を示す。併せて新たなタクシー施策を来年度実験的に取り組むこととなり、それについても議題としている。計画策定も大詰めだが、忌憚のない意見を頂戴したい。(会長)

3. 協議事項

(1) 大洗町地域公共交通計画(案)について

○(資料1-1、資料1-2について説明)(事務局)

○p74以降の施策について、今回最終案として示された。それぞれ連携して取り組めば効果は上がると思う。(委員)

○p12の観光振興策の頁について、説明文は問題ないが、うみまちテラスのレイアウトを新年度リニューアルする予定のため、示されている図面を差し替えた方が良い。(委員)

⇒リニューアル後の図面はいつ出てくるか。(会長)

⇒調整中だが、あるいは図面でなくても適切な図であれば良いのではないかと思う。(委員)

○会議としてこの案で取りまとめるということで良いか。(会長)

⇒(各委員より、異議なし)

(2) 500円タクシー運行事業に関する令和6年度実証実験(案)について

○(資料2について説明)(事務局)

○登録者で同じ方が何回も使うと制度としての平等性が崩れるのではないか。1人あたりの上限回数を設けた方が良いのではないか。社協のお買い物ツアーでは1人月2回までとしている。行きをバスで、荷物の多い帰りに500円タクシーを使うことも考えられるので、回数等については執行部で詰めてほしい。(委員)

⇒想定としてはご意見の通り行きがバスで帰りに500円タクシーという利用はあり得ると考えている。上限を設けなかったのは町内循環バスの代替として想定しているためである。(事務局)

○対象者だが、免許返納を想定するのであれば、年齢を引き上げた上で免許返納者や免許を所持していない方を入れられないか。また、要介護者には介護移送もあるが何故対象者に入れたか。(委員)

⇒免許返納者には町内循環バスの利用券を発行しているが、65歳以上が対象である。本事業は75歳以上を対象とすることから棲み分けが難しく、また元々免許を持っていない人にとって不平等になってしまう。実証実験を踏まえ対象者の範囲を広げる検討はする。福祉については、福祉課で等級の高い方に助成しているが、今回は手帳を持っている方であれば軽い方にも利用してもらえるように考えている。(事務局)

⇒対象者を広げていく検討には現在のターゲット以外の調査が必要である。既存の調査ではそこまでのデータがないので、並行して調査すべきである。また、対象者層のうち何%程度を利用目標とするかなど示してほしい。対象者の実情・ニーズの分析を実験中から実験後に回していた方が良い。どう情報収集するかも含め、事務局で考えてほしい。(委員)

⇒情報収集については事務局としても重要だと考えている。周知を幅広く行い、利用者の声を拾っていく。(事務局)

⇒評価の指標が定まっていないので考えてほしい。実験が開始したら会議で報告、議論するなどして検討してほしい。(会長)

○広報の仕方はどう考えているか。また、運行時間帯6時間で1日20人の利用を想定すると1時間3台となるが、タクシーの台数は足りるのか。(委員)

⇒まず、今回の事業でドアツードアの重要性を認められて良かった。タクシー事業者として周知を徹底するとともに課題を見直す。昼間については台数は足りている。(委員)

○周知が重要であり、それによって結果がついてくる。現時点でどういう方法や期間を考えているか。(委員)

⇒高齢者に対しては社協の協力のもと高年クラブやサロン、イベント等を考えている。妊産婦に対しては母子手帳交付時や乳幼児健診、親子ふれあいセンターきらきらでのイベント等を考えている。(事務局)

- ⇒「知っていたら利用したのに」という声が出ることがないように徹底的に周知してほしい。(会長)
- 運行時間帯については事業者としてはこれが限界か。これよりも朝が早い通院需要があるのではないかと思う。(会長)
- ⇒朝については比較的大丈夫である。夜は仕事がなく水戸へ帰ってしまうため難しい。(委員)
- ライドシェアが検討されているが、フリーランスを増やし雇用保険に入っている人を減らすのは国としても良くないを考える。タクシー事業者の力不足によるものでもあるので、努力していく。(委員)
- 計画素案 p81 にソフト施策があるが、これも同様に周知が大事である。こうしたソフト施策を一緒に取り組んでいく。頑張るタクシー事業者を行政が応援していくのは賛成である。バス事業者、タクシー事業者が持つニーズの情報を行政にも共有してほしい。(委員)

(3) 今後のスケジュールについて

- (資料3について説明)(事務局)
- 来年度は会議を2回開催するということか。(会長)
- ⇒その予定である。引き続き協力してほしい。(事務局)
- 計画策定に向け議論いただき感謝する。策定が目標ではなく、マイカー社会の中で施策をどう取り組んでいくかが大事である。引き続き協力してほしい。(事務局)

4. 閉会

以上